取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

CV-RS3000

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

●特長とお願い …… 2
・プラズマULPA構造 …… 2
・ごみハンターヘッドα …… 2
・ダストケース自動リフトアップ機構 …… 3
●各部のなまえと組み立てかた …… 4
●安全上のご注意 …… 6
●使用上のお願い …… 7

使いかた

●運転のしかた …… 8
・音声ナビゲーションについて …… 10
・電動スパイラル除じん機構について …… 11
・「これっきりエコボタン」による自動運転について …… 12
・パワーモニターについて …… 12
●お掃除のしかた …… 13
・パワーヘッドの動かしかた …… 13
・パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて …… 13
・クルッと構造・ペタリンコ構造 …… 13
・曲がるロング吸口(D-SH4) …… 14
・クルッとブラシ …… 15
・電動ふとん吸口 …… 16
・あると便利な別売り吸口 …… 17

お掃除が終わったら

●ごみの捨てかた …… 18
・ダストケースの取り出しかた …… 18
・ごみの捨てかた …… 19
・ダストケースの取り付けかた …… 19
・本体のランプ(光サイン)について …… 20
●あとかたづけ …… 21
・電源コードの巻き取りかた …… 21
・収納のしかた …… 21
●吸込力が弱くなったら …… 22
●お手入れのしかた …… 24
・本体・付属品 …… 24
・パワーヘッド …… 24
・電動ふとん吸口 …… 26

こんなときは

●故障かなと思ったら …… 27
●アフターサービスと保証 …… 30
●別売り部品 …… 31
●仕様 …… 32

ロボットサイクロン
RS

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

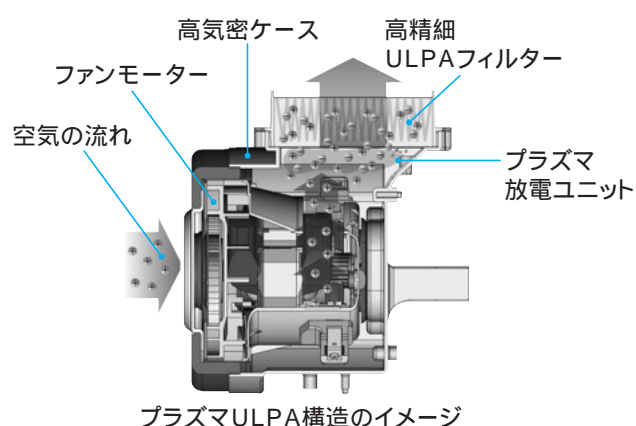
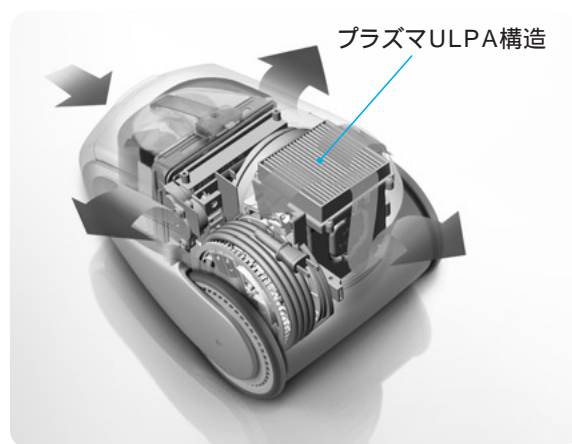
「安全上のご注意」➔P.6〜7 をお読みいただき、正しくご使用ください。

特長とお願い

きれいにこだわる、使いやすさにこだわる、「ロボットサイクロン RS」

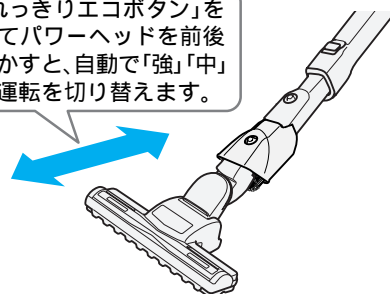
プラズマULPA構造

高気密モーターケース内に設けたプラズマ放電ユニットから放出される電子群が、プラスに帯電した微細なチリを結合させて大きくすることで、高精細ULPAフィルターの捕じん力を高めます。

プラズマULPA構造のイメージ

●本体からダストケースを取り出す際は、本体内にごみがこぼれないようにご注意ください。
本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。 → P.18、19
モーター部にごみが侵入すると、高精細ULPAフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→ P.30

ごみハンターヘッドα

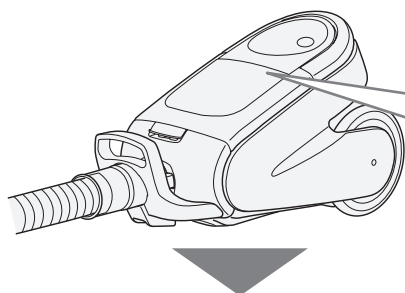
「これっきりエコボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。 → P.9、12

「これっきりエコボタン」を押してパワーヘッドを前後に動かすと、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。

センサーは、次のようなことを感知して、自動で運転を切り替えます。
- ●ゆか面の凹凸や傷み
- ●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合
- ●パワーヘッドの操作速度および方向転換
- ●パワーヘッドの停止

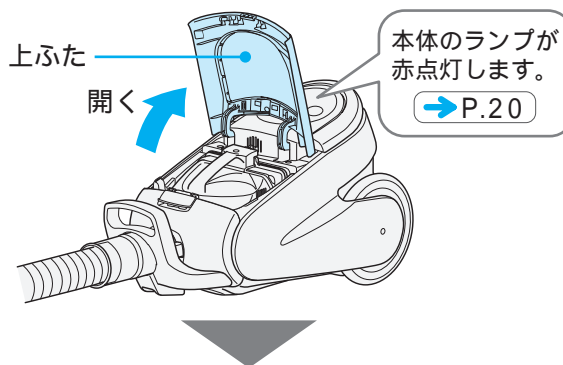
このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

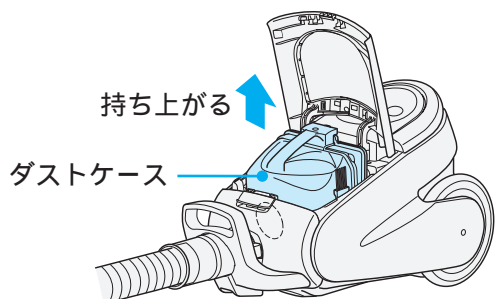
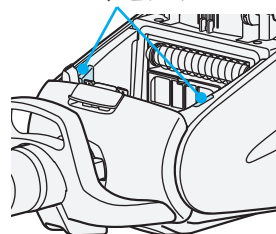
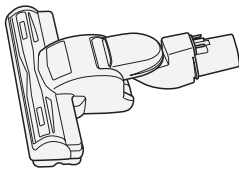
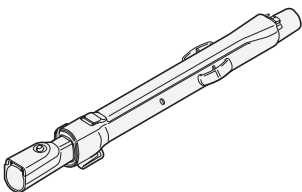
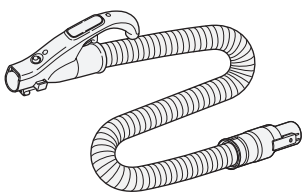
ダストケース自動リフトアップ機構

手もと操作部の「切」スイッチを押して本体の運転を止めたときに、ごみセンサーがダストケースのごみがいっぱいになったことを感知すると、自動で上ふたが開いてダストケースが持ち上がります。このときは、ダストケースのごみを捨ててください。 ➔ P.18、19

●ごみがいっぱいになったことを、音声ナビゲーションでお知らせします。

音声でお知らせ

「ごみがいっぱいになりました。
ダストケースが自動で持ち上がります。
ごみを捨ててください。」

●自動で上ふたが開いて、ダストケースが持ち上がります。

お願い

●ダストケースや内筒フィルターが汚れていると、ごみセンサーがごみのたまり具合を正しく感知できずに、ごみがいっぱいになっていなくても「ダストケース自動リフトアップ機構」が作動することがあります。
このようなときは、ダストケースや内筒フィルターを水洗いするなどして、汚れを落としてください。➔ P.23

●ダストケースを取り出し、ごみを捨ててください。 ➔ P.18、19

●電動で持ち上がっている途中のダストケースを上から押さえると、「ピピピ…」という音が鳴り、ダストケースが下がることがあります。このときは、ダストケースを奥まで入れ直してください。ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。

各部のなまえと組み立てかた

スライドつまみ →P.8

フック →P.15
(ツールホルダー)

パワーモニター →P.12
(パワーヘッドのランプ)

ボタン

ボタン

クルッとブラシ →P.15

ホーススタンド →P.21

延長管

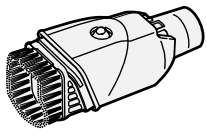
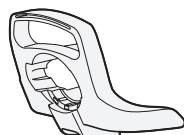
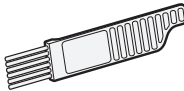
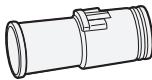
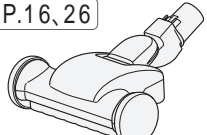
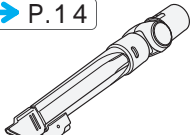
パワーヘッド →P.12、13、24、25

●パワーヘッド、クルッとブラシ、延長管を外すときは、ボタンを押しながら抜いてください。

●裏側

持ち上げ停止スイッチ

回転ブラシ（ナノチタン8条回転ブラシ）

本体つぎて

標準付属品

パワーヘッド（1個）(抗菌消臭イオンワイドパワーヘッド)	延長管（1本）(サッとズームパイプ)	ホース（1本）

付属応用部品

クルッとブラシ（1個）	サッとハンドル（1個）(バンパー付きサッとハンドル)	抗菌お手入れブラシ（1個）(ダストケース側面に取り付けられています)	別売り部品接続用アタッチメント（1個） →P.17
電動ふとん吸口（1個）(アレルオフビートヘッド) →P.16、26	曲がるロング吸口(D-SH4)（1個）(曲が〜るロング吸口) →P.14	ブラシ(SH4)（1個） →P.14	吸口ホルダー(SH4)（1個） →P.15

●手もと操作部
- グリップハンドル
- 運転スイッチ →P.9
- 手もとレバー →P.8

ボタン

スタンドフック →P.21

収納フック →P.21

ホース

本体のランプ(光サイン) →P.20

上ふた

ふたクランプ

サッとハンドル

カチッ

電源コード巻き取りボタン →P.21

可動ハンドル

排気口

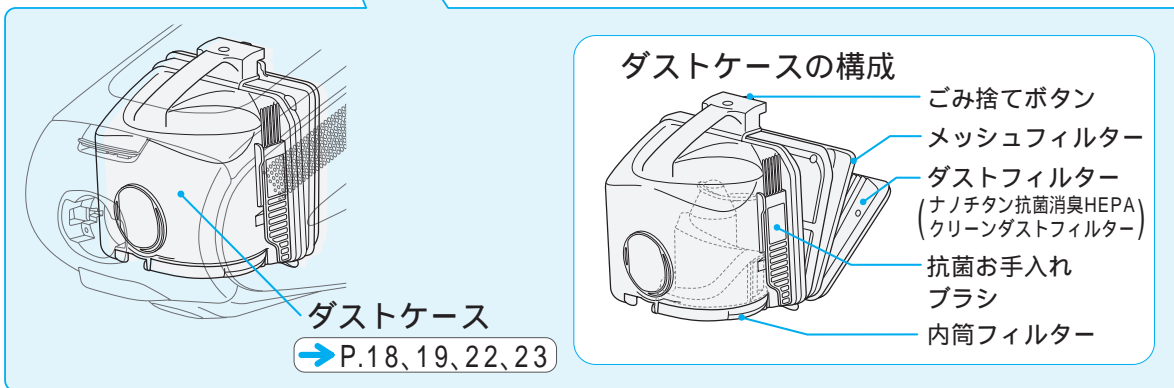
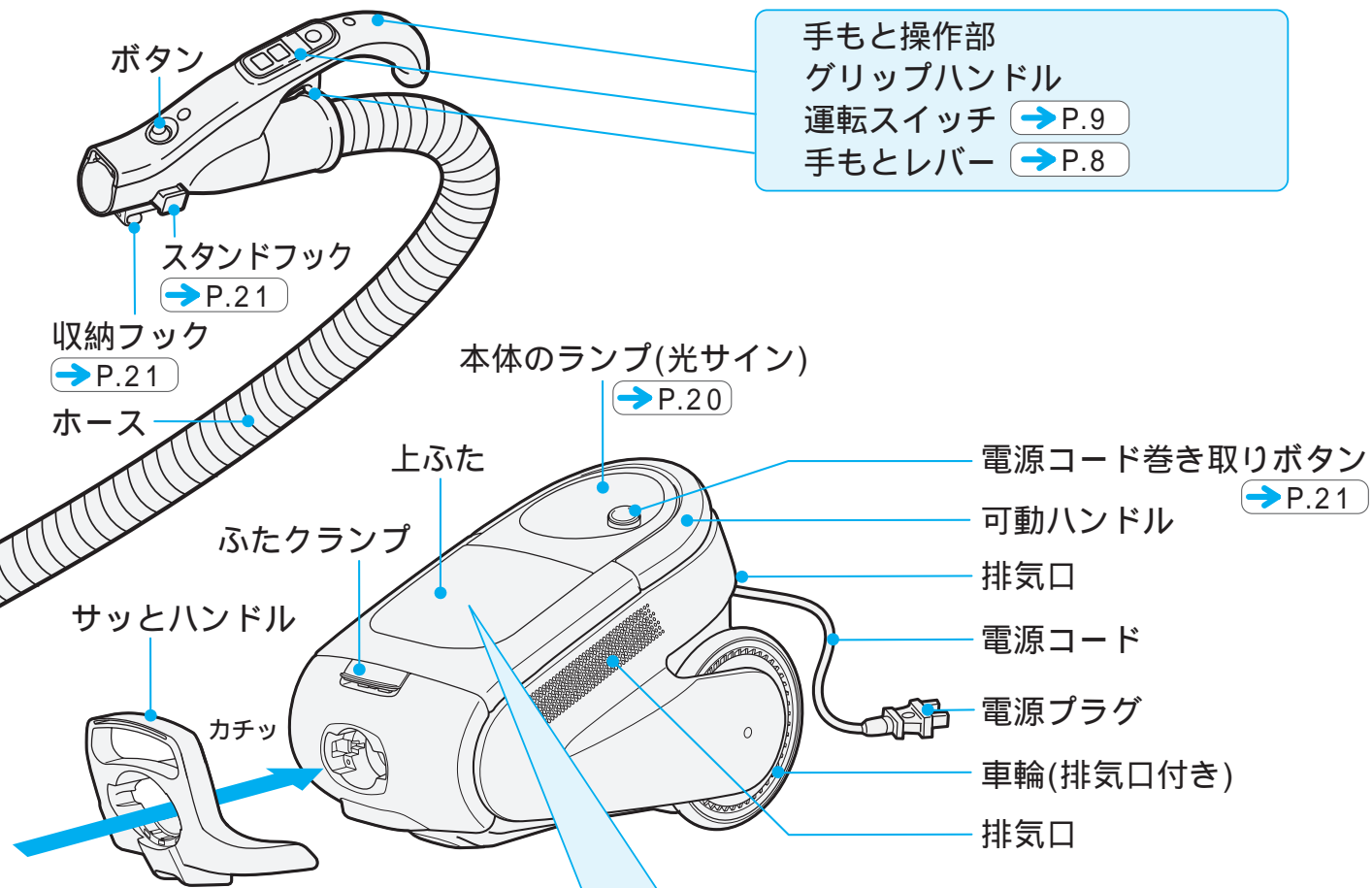
電源コード

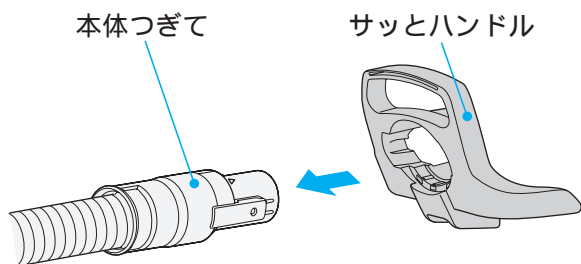
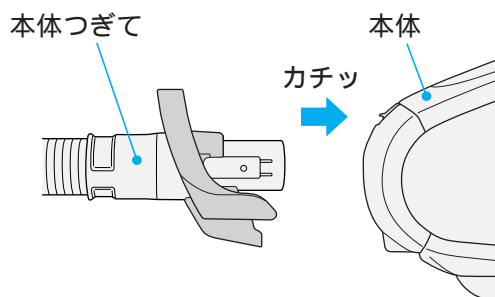
電源プラグ

車輪(排気口付き)

排気口

ダストケース →P.18、19、22、23

●ダストケースの構成
- ごみ捨てボタン
- メッシュフィルター
- ダストフィルター（ナノチタン抗菌消臭HEPAクリーンダストフィルター）
- 抗菌お手入れブラシ
- 内筒フィルター

サッとハンドルの取り付けかた

1 サッとハンドルを本体つぎてに取り付ける

2 本体つぎてを本体に差し込む

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

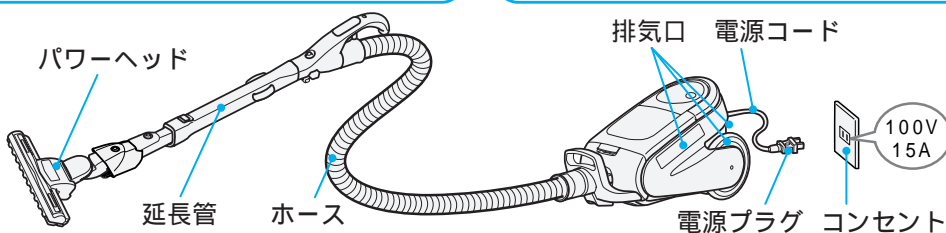
■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明

 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

 必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

- スイッチを押しても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさい"におい"がする
- その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

●火災・感電・けがを防ぐために

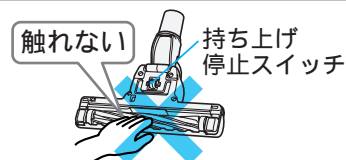
電源(コンセント・プラグ・コード)

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグは根元まで確実に差し込む
●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

●電源コードを傷つけない
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●電源コードを回転ブラシに巻き込まない

火災・感電の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)

●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。

そのほか

●分解したり修理・改造しない
●水洗いや風呂場での使用はしない(水洗いできる部分は除く)
●灯油、ガソリン、シンナー、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻などを吸わせない
火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意

●発火・ショート(短絡)・けがを防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電や発火の原因となります。

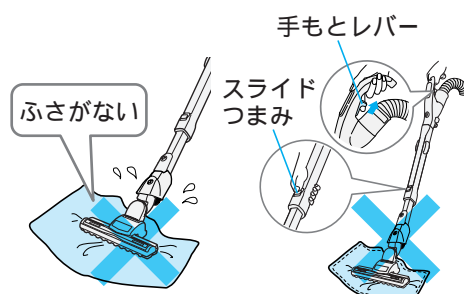
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電や発火することがあります。

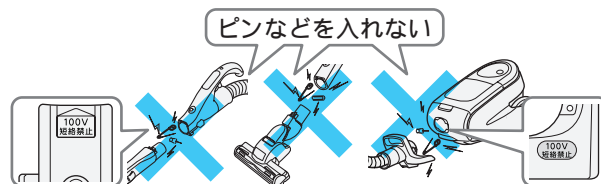
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。

パワーヘッド(吸込口)

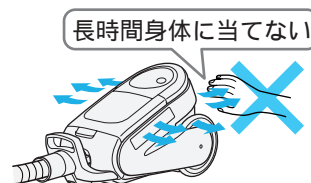
●運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。

●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。

●ほかの製品に取り付けて使わない
過熱によるパワーヘッドの変形・発火の原因となります。

ホース・延長管

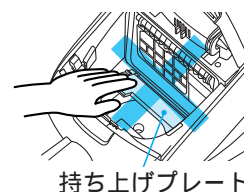
●ホースや延長管の先端で掃除をしたり、ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)・発火の原因となります。

排気口

●排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。

●排気口から出る風を、長時間身体に当てない
やけどをすることがあります。

そのほか

●引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない
誤って吸い込むと、発火の原因となります。

●火気に近づけない
本体の変形によるショート(短絡)・発火の原因となります。

●作動中の持ち上げプレートに触れない
けがの原因となります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。

●ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。

●破れたり、傷ついたホースを使用しない
故障の原因となります。

●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。

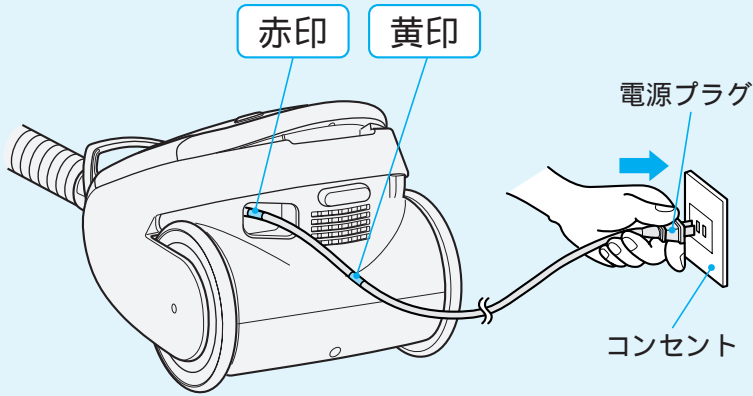
●本体に乗らない
故障の原因となります。

●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り) ・多量の砂や粉
・長いひも ・ガラス ・押しピン ・針 ・つまようじ

●水洗いできる部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むと、メロディーが鳴ります。
その後、電動スパイラル除じん機構が自動で作動します。 → P.11

⚠ 警告

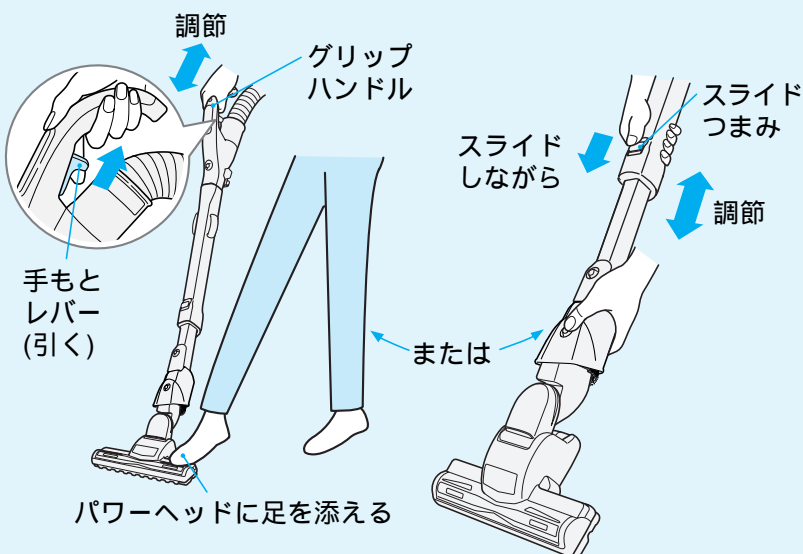
火災のおそれあり

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

お願い

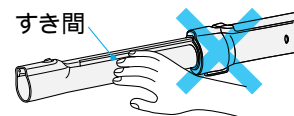
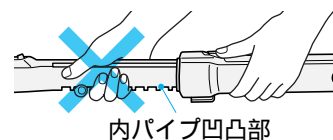
●電源コードは赤印以上引き出さないでください。
断線の原因となります。

2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる

⚠ 注意

けがのおそれあり

●運転中に手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。
延長管が急に縮むことがあります。

●延長管のすき間に手などを入れないでください。

●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。
手を挟むことがあります。

3 運転スイッチを押す

手動で運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

- **強** **じゅうたんの念入りなお掃除に**
- **中** **ふつうのお掃除に**
- **弱** **ゆか、たたみなどのお掃除に静かにお掃除したいときに**

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転速度が変わります。

自動で運転したいとき

「これっきりエコボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。

➔P.12

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転速度も変わります。

お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り替えます。

- **ゆか面の凹凸や傷み**
- **じゅうたんの毛の向きや倒れ具合**
- **パワーヘッドの操作速度および方向転換**
- **パワーヘッドの停止**

このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

手もと操作部

長押し-音切/入
パワーブラシ 切/入
強/中/弱
これっきりエコボタン
切
長押し-除じん

回転ブラシ(パワーブラシ)の回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り替わります。

本体の運転が止まっているときに、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、掃除機の運転は開始しません。また、回転ブラシも回転しません。
「これっきりエコボタン」で運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

音声ナビゲーション「切/入」を切り替えたいとき

本体の運転が止まった状態で、「パワーブラシ切/入」スイッチを長押し(5秒以上)するごとに、「切」→「入」→「切」…の順に切り替わります。

➔P.10

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。

手動で除じんしたいとき

本体の運転が止まった状態で、「切」スイッチを長押し(3秒以上)すると、電動スパイラル除じん機構が作動します。

➔P.11

⚠ 注意

けがのおそれあり

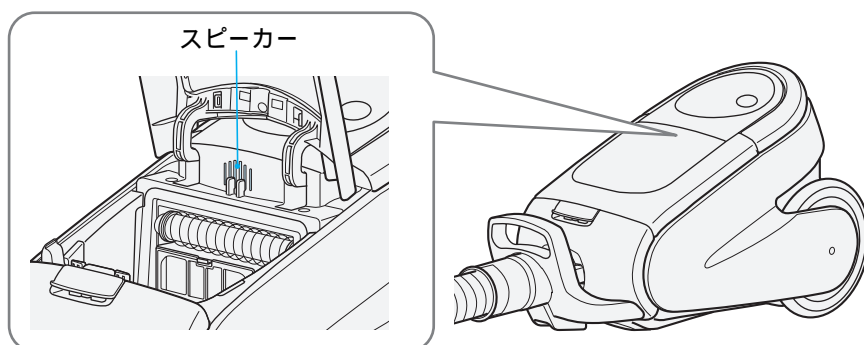
- 吸込口をふさいだ状態で、「強/中/弱」スイッチや「これっきりエコボタン」を押さないでください。
  ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

お知らせ

- **上ふたが開いているときは、本体は運転しません。**

運転のしかた(続き)

音声ナビゲーションについて

●音声ナビゲーションは、本体の状態を音声でお知らせする機能です。

次のことを音声でお知らせします。

本体の状態	音声
●ダストケースが電動で持ち上がるとき → P.18 (ふたクランプを押して、上ふたを開けたとき)	「ダストケースが自動で持ち上がります。」
●本体のランプ → P.20 が赤点滅した状態で「切」スイッチを押して、本体の運転を止めたとき ※	「吸込力が弱くなりました。ごみを捨て、ダストフィルターをお手入れするか、吸込口などの詰まりを確認してください。」
●ダストケース自動リフトアップ機構 → P.3 が作動するとき ※	「ごみがいっぱいになりました。ダストケースが自動で持ち上がります。ごみを捨ててください。」
●上ふたが開いた状態で、 1 電源プラグをコンセントに差し込んだとき 2 「強/中/弱」スイッチ、または「これっきりエコボタン」を押したとき	「ふたが正しく閉まっていません。確認してください。」
●パワーヘッド(吸口)の回転ブラシに異物を挟み込むなどし、回転しない状態で「切」スイッチを押したとき	「回転ブラシが回りません。吸口を確認してください。」

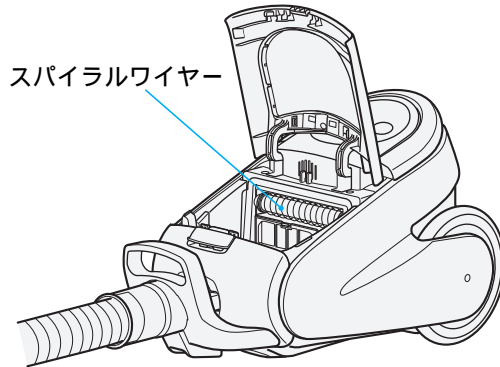
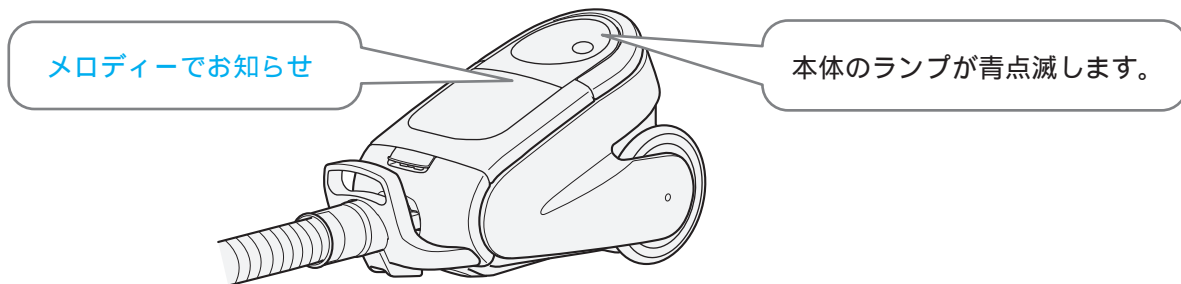
※ メロディーが鳴り、本体のランプが青点滅し、電動スパイラル除じん機構が自動で作動します。 → P.11

音声ナビゲーション「切／入」の切り替えかた

本体の運転が止まった状態で「パワーブラシ切/入」スイッチを長押し(5秒以上)するごとに、音声ナビゲーション「切」→「入」→「切」…の順に設定が切り替わります。
工場出荷時は、音声ナビゲーション「入」に設定されています。

設定が切り替わると、次の音声でお知らせします。
●音声ナビゲーション「入」→「切」に切り替わったとき：「音声「切り」です。」
●音声ナビゲーション「切」→「入」に切り替わったとき：「音声「入り」です。」

電動スパイラル除じん機構について

●除じん専用モーターにより、「スパイラルワイヤー」がダストフィルターを強力に振動させ、付着したチリを落とします。
ダストフィルターの目詰まりが抑えられるので、強い吸込力が長く続きます。

●メロディーと本体のランプ ➔ P.20 の青点滅で、電動スパイラル除じん機構の作動をお知らせします。

●電動スパイラル除じん機構は、次のとき自動で作動し、ダストフィルターに付着したチリを落とします。
・電源プラグをコンセントに差し込んだとき
・「切」スイッチを押して、本体の運転を止めたとき

●本体の運転が止まった状態で「切」スイッチを長押し(3秒以上)すると、電動スパイラル除じん機構を作動させることができます。(メロディーは鳴りません)

●上ふたが開いているときは、安全のために、電動スパイラル除じん機構は作動しません。

●電動スパイラル除じん機構作動中に、ふたクランプを押して上ふたを開けた場合 ➔ P.18 は、安全のために、除じん機構が止まります。

●電動スパイラル除じん機構作動中に「切」スイッチを押すと、除じん機構が止まります。

●電動スパイラル除じん機構作動中に「強/中/弱」スイッチ、または「これっきりエコボタン」を押すと、除じんが止まり、本体の運転を開始します。

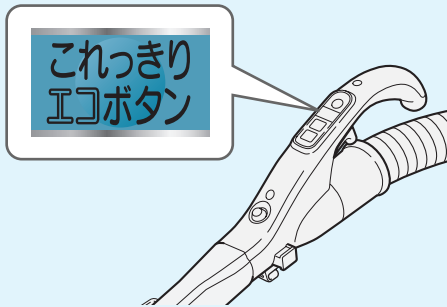
●本体にホースが差し込まれていない場合、電源プラグをコンセントに差し込んでも、電動スパイラル除じん機構は作動しません。

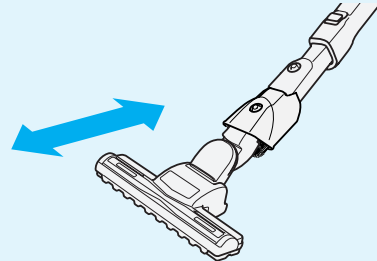
●パワーヘッドの回転ブラシに異物を挟み込むなどし、回転しない状態で「切」スイッチを押した場合、電動スパイラル除じん機構は作動しません。

運転のしかた(続き)

「これっきりエコボタン」による自動運転について

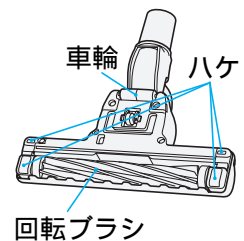
1 「これっきりエコボタン」を押す

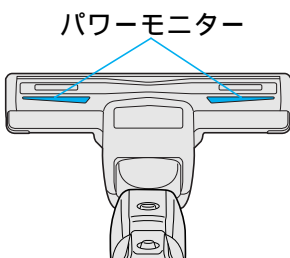
最初は「強」運転になります。

2 パワーヘッドを前後に動かす

センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。

こんなときは…

- パワーヘッドをゆか面から浮かせているときは、パワーヘッドを浮かせる前の運転状態を保ちます。
- 「これっきりエコボタン」で自動運転中に、パワーヘッドを取り外したときは、パワーヘッドを取り外す前の運転状態を保ちます。
- パワーヘッドを取り外した状態で、「これっきりエコボタン」を押して運転を開始したときは、「強」運転を保ちます。
- 「これっきりエコボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても回転ブラシの回転は止まりません。

お願い

●パワーヘッドの車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.30、31

パワーモニターについて

●パワーモニターの色で、本体の運転状態や回転ブラシの回転速度をお知らせします。

本体の運転状態	回転ブラシの回転速度	パワーモニターの色
「強」運転のとき	高	赤
「中」運転のとき	中	オレンジ
「弱」運転のとき	低	緑

「これっきりエコボタン」で自動運転しているときは、運転状態に合わせてパワーモニターの色が変わります。

- パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転が止まります。➔ P.13
- パワーヘッドの保護装置 ➔ P.27 が働いているときは、パワーモニターは点灯しません。
- 「パワーブラシ切/入」スイッチで回転ブラシの回転を止めているときは、パワーモニターは点灯しません。

お掃除のしかた

パワーヘッドの動かしかた

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

⚠警告

けがのおそれあり

●パワーヘッドを引くときに、身体の一部(足の上など)に乗り上げないようにご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。

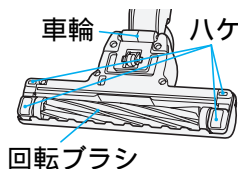
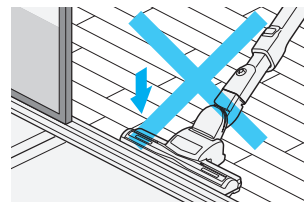
⚠注意

ゆか面に傷をつけるおそれあり

●ひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。
また、パワーヘッドをゆか面に強く押し付けないでください。

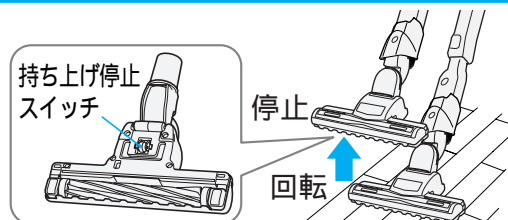
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
定期的にお手入れしてください。➔ P.24

●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.30、31

※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。

お願い ●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このときは「弱」運転に切り替えてください。

パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

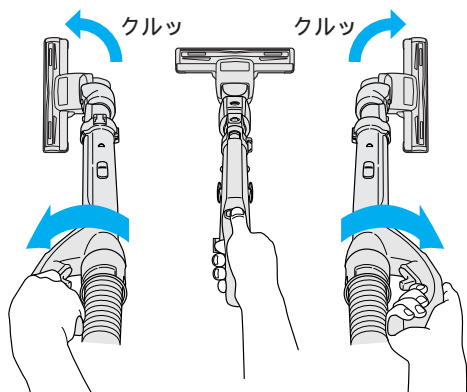
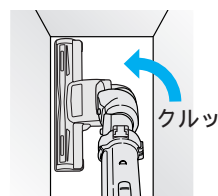
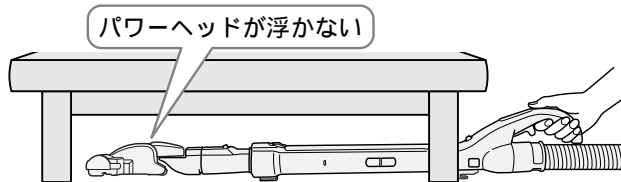
パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて、回転ブラシの回転が止まります。

●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは ➔ P.24

⚠警告

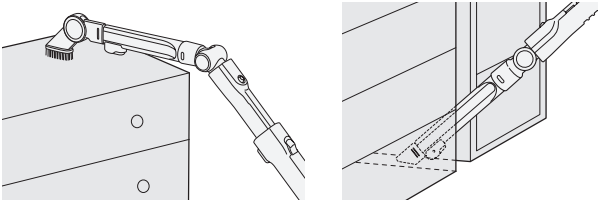
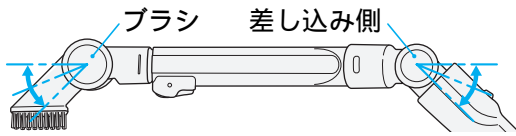
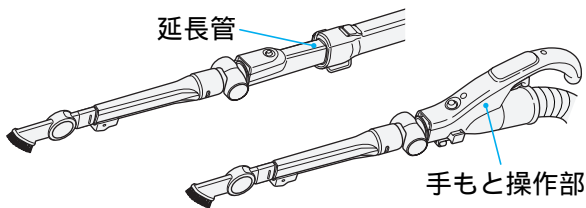
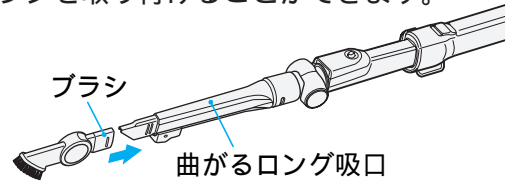
けがのおそれあり

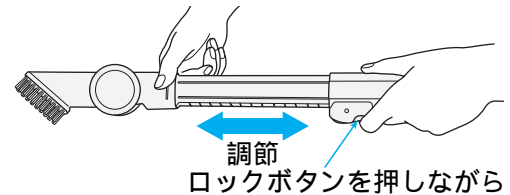
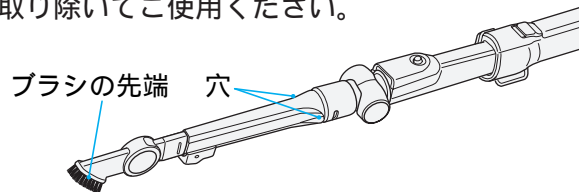
●パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

クルッと構造・ペタリンコ構造

グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。

ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。また、パワーヘッドをクルッと回してすき間もスムーズにお掃除できます。

お掃除のしかた(続き)

曲がるロング吸口(D-SH4)

●家具の上やすき間の奥まで届く、先が細い伸縮自在の吸口です。

●ブラシと差し込み側で、それぞれ3つの角度が選べます。

●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。

●ブラシを取り付けることができます。

・ブラシを取り外すときは、曲がるロング吸口を完全に伸ばしてください。

●吸口を使いやすい長さに変えられます。

●お掃除のときは、主にブラシの先端から空気を吸い込んでいますが、ブラシにごみが詰まった場合は、本体モーターの過熱を防ぐために、手元側の穴(2か所)から吸い込む空気の量が増えます。このため、ブラシと穴(2か所)に詰まったごみを取り除いてご使用ください。

・ブラシの先端や内側に綿などのごみが詰まっている場合は、吸込力が低下しますので、ごみを取り除いてください。
・手元側の穴に綿などのごみが詰まっている場合は、本体モーター保護のため、ごみを取り除いてください。

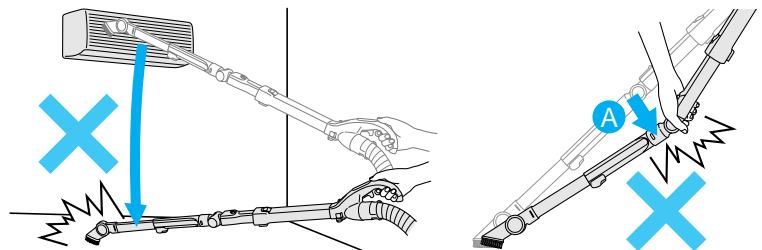
⚠注意

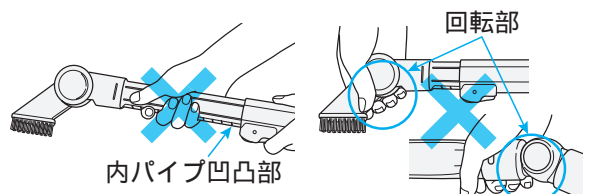
傷をつけるおそれあり

●ピアノなど特に傷つきやすい場所にはブラシを押し付けないでください。

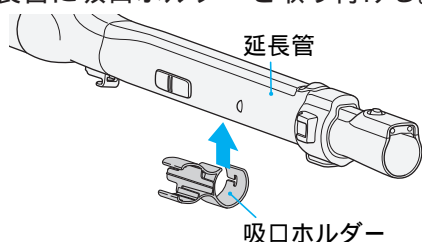
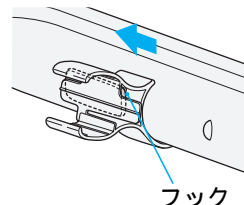
お願い

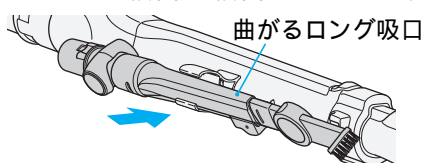
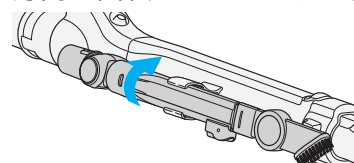
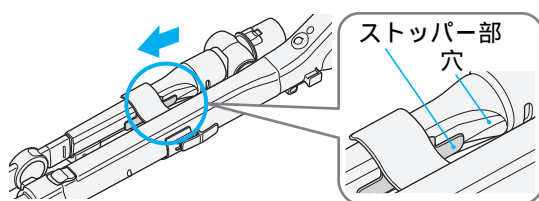
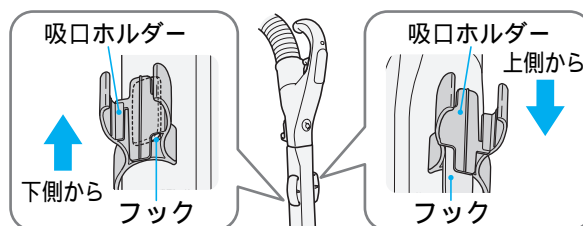
●曲がるロング吸口を使用するときは、高所から落下させたり、Ⓐの矢印の方向に無理な力を加えないでください。
破損するおそれがあります。
●曲がるロング吸口の長さを変えるときは、ロックボタンを押しながら伸縮させてください。
無理に引っ張るなどすると、破損するおそれがあります。
●曲がるロング吸口は水洗いができます。水洗い後は、十分に自然乾燥させてからご使用ください。
水を吸い込むと、故障するおそれがあります。

⚠注意

けがのおそれあり

●運転中にロックボタンを押さないでください。
曲がるロング吸口が急に縮むことがあります。
●曲がるロング吸口を縮めるときは、内パイプの凹凸部を持たないでください。手を挟むことがあります。
●角度を変えるときは、回転部を持たないでください。手を挟むことがあります。

付属の吸口ホルダーを延長管に取り付けて、収納することができます。

1 延長管に吸口ホルダーを固定する

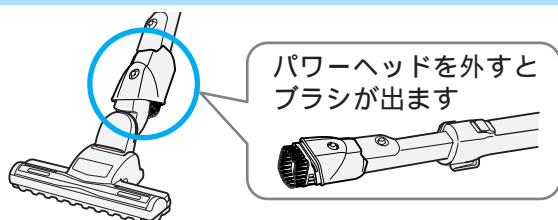
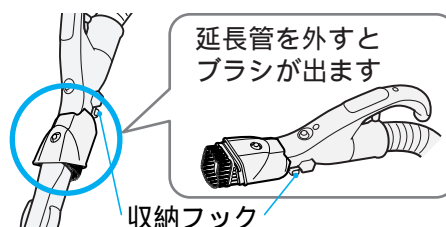
1 延長管に吸口ホルダーを取り付ける。

2 吸口ホルダーをスライドさせてフックに固定する。

2 吸口ホルダーに曲がるロング吸口を取り付ける

1 曲がるロング吸口を吸口ホルダーに入れる。

2 矢印の方向に回転させてはめ込む。

3 曲がるロング吸口の穴にストッパーを差し込む。

吸口ホルダーは、左右どちら側にも取り付けられます。

クルッとブラシ

- **パワーヘッド（または延長管）を外すとブラシが出ます。ブラシを回して角度が変えられます。パワーヘッド（または延長管）を元どおり取り付けると、ブラシが収納されます。**
- **クルッとブラシは、パワーヘッド側、手もと操作部側のどちらでも取り付けることができます。**

パワーヘッド側に取り付けるとき

手もと操作部側に取り付けるとき

※手もと操作部側に取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。 ➔ P.21

使用中にブラシが外れた場合(ブラシの取り付けかた)

1 ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる

2 ブラシを押しつけながら、回転させる

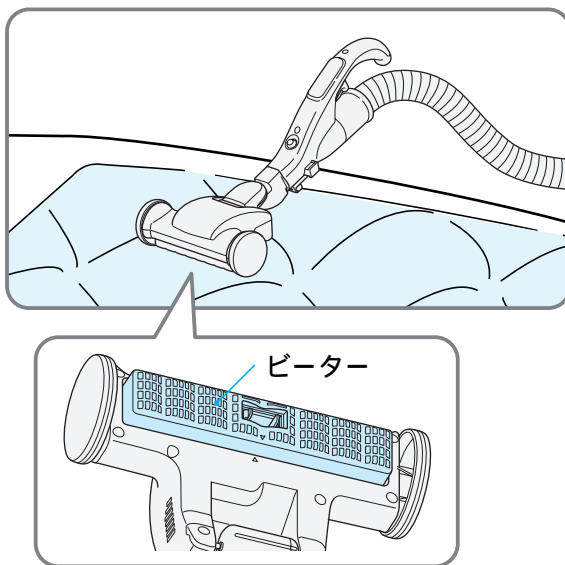
⚠ 注意

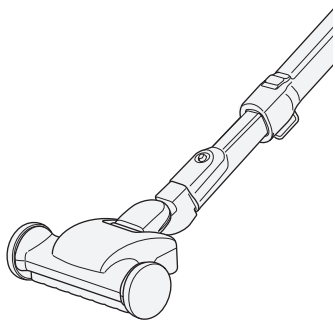
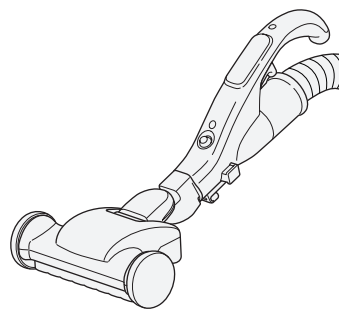
傷をつけるおそれあり

- ピアノなど特に傷つきやすい場所にはブラシを押し付けないでください。

お掃除のしかた(続き)

電動ふとん吸口

- ●ビーターの振動でふとんを傷めず、ダニ・ホコリなどを吸い取る吸口です。
- ●電動ふとん吸口は、「強／中／弱」スイッチでご使用ください。「これっきりエコボタン」を押しても、ふとんに適した自動運転をするわけではありません。
- ●ふとんの種類によっては、吸口がはりついて操作しにくいことがあります。このようなときは、「弱」運転に切り替えてください。
- ●シーツを外してふとんをお掃除すると、より効果的です。
- ●「パワーブラシ切/入」スイッチを押すごとに、ビーターの振動が「切」→「入」→「切」…の順に切り替わります。
  ダニ・ホコリなどを効果的に吸い取るため、ビーターは振動させてご使用ください。

電動ふとん吸口は、延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。

延長管側に取り付けるとき

手もと操作部側に取り付けるとき

●電動ふとん吸口のお手入れは → P.26

お願い

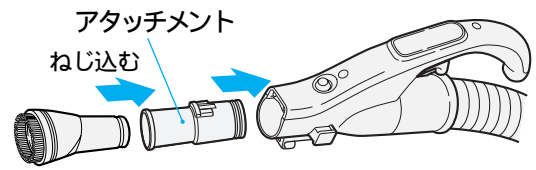
●電動ふとん吸口を取り付けるときは、本体の運転を止めてください。
運転中に取り付けると、急にビーターが動き始めることがあります。

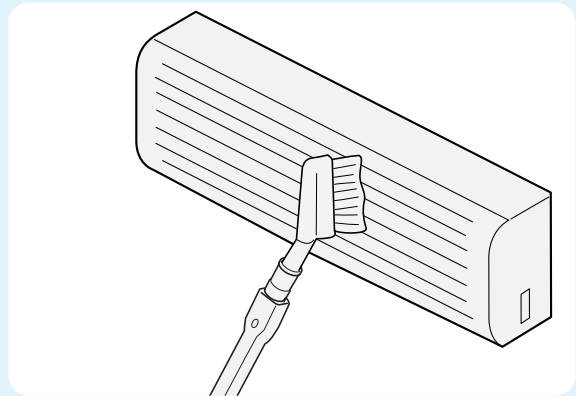
⚠注意

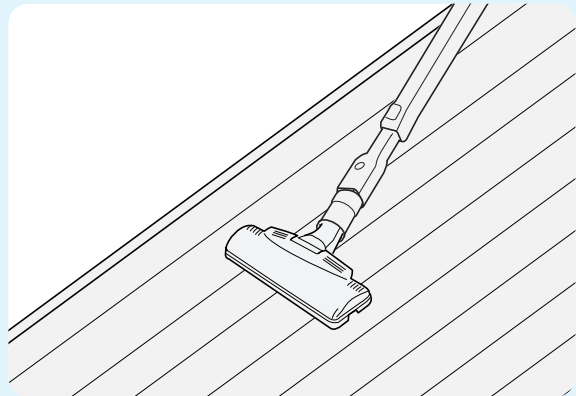
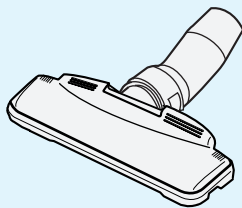
けがをする、傷をつけるおそれあり

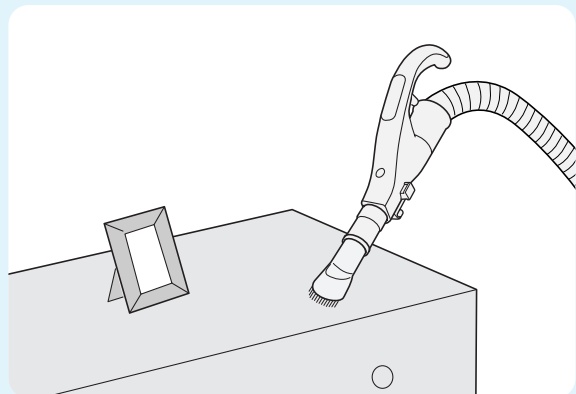
- ●電動ふとん吸口でふとん以外(ゆかやたたみ、じゅうたんなど)をお掃除しないでください。
- ●電動ふとん吸口のビーターが動いているときは、手などを近付けないでください。
- ●ビーターを取り外した状態でお掃除しないでください。

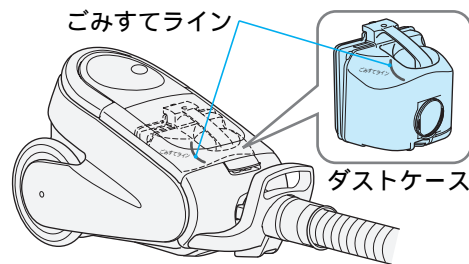
あると便利な別売り吸口

●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口がご使用できます。→ P.31
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。

■はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、
家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。

■丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、たたみに適した大きめの
拭き専用ブラシ付きの吸口です。
(「中」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

■棚用自在吸口(D-TJ2)

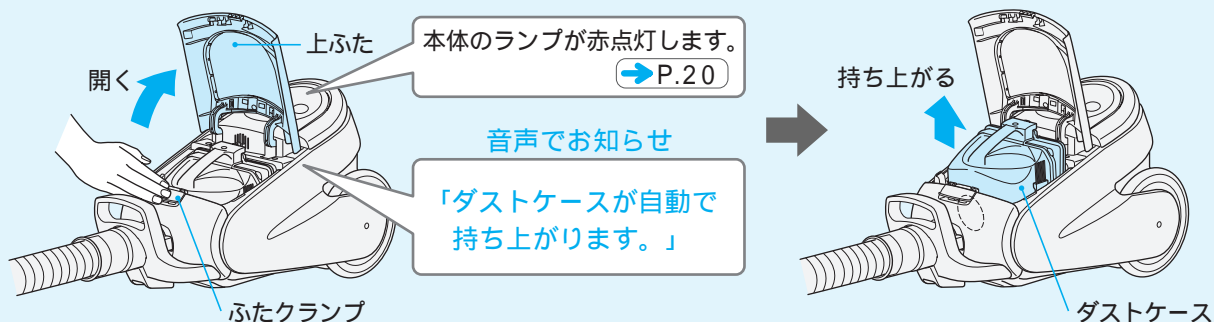
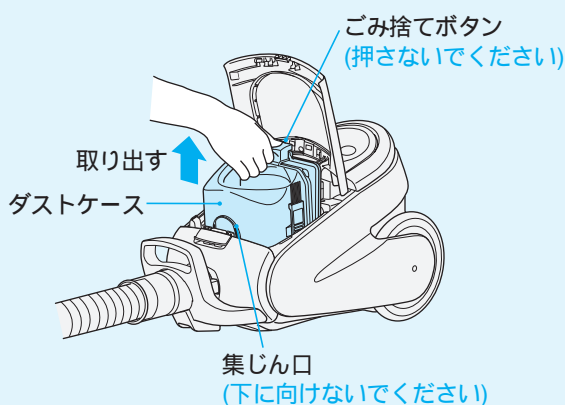
吸口の角度を変えて、棚の上などを
お掃除する吸口です。
水洗いができます。

ごみの捨てかた

●ダストケースのごみは「ごみすてライン」を目安に捨ててください。
●ごみセンサーがダストケースのごみがいっぱいになったことを感知すると、ダストケース自動リフトアップ機構が作動します。➔P.3

お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

ダストケースの取り出しかた

1 **電源プラグをコンセントに差し込む** ➔P.8

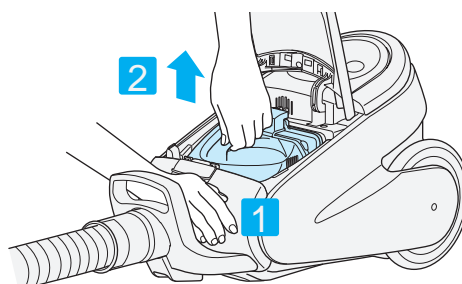
2 **ふたクランプを押す**

上ふたが開き、音声ナビゲーションでお知らせして、ダストケースが電動で持ち上がります。

3 **ダストケースを取り出す**

お願い
●ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。
本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。

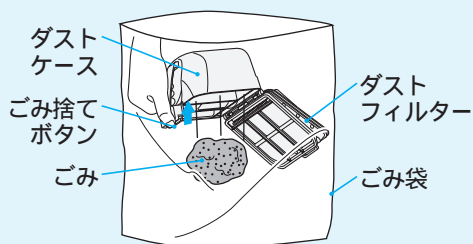
●電動で持ち上がったダストケースは、いったん取り出さないと、元どおり本体に取り付けできません。いったん取り出さずに無理に押さえつけると、本体やダストケースが破損するおそれがあります。

電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは、ダストケースを手動で取り出してください。

1 **本体の前側を手で押さえる**

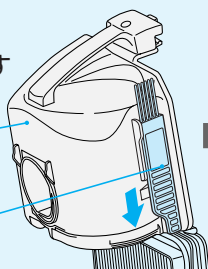
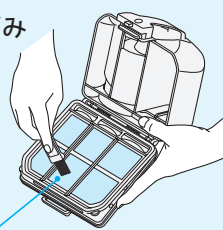
2 **まっすぐ上に強く引き上げる**

ごみの捨てかた

1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

ダストフィルターを下に向けてごみ捨てボタンを押し、ごみを捨てる

お願い

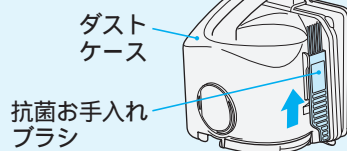
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 メッシュフィルターに付着したごみを取り除く

1 抗菌お手入れブラシを取り外す

2 付着したごみを取り除く

⚠注意

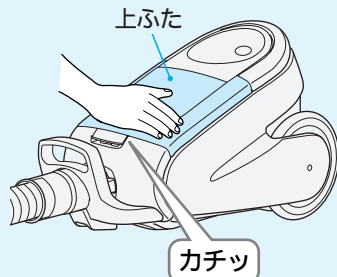
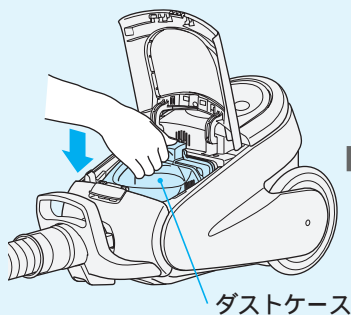
けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んだときは、手を直接触れないで捨ててください。

3 ダストフィルターを閉め、抗菌お手入れブラシを取り付ける

ダストケースの取り付けかた

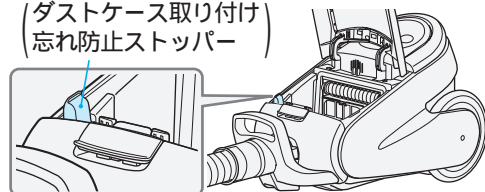
ダストケースを奥まで入れて、上ふたを閉める

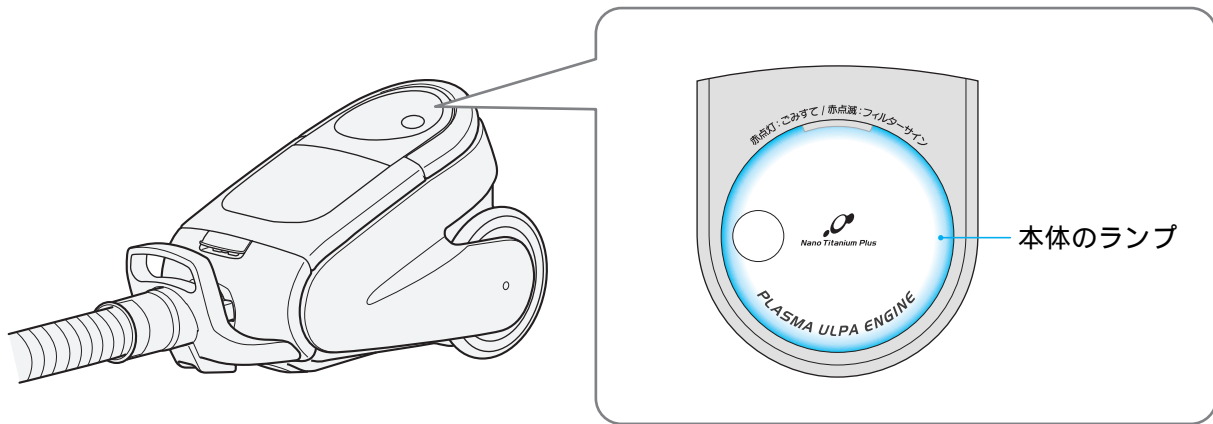
奥まで入れる

上ふたを「カチッ」と音がするまで閉める

お願い

●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。しっかり奥まで入れてください。

●ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。

ごみの捨てかた(続き)

本体のランプ(光サイン)について

<table>
<tr><td rowspan="2">赤</td><td>点灯</td><td>ごみ捨てのお知らせです。
ダストケースが電動で持ち上がるとき、赤点灯します。➔ P.3、18</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>フィルターお手入れ ➔ P.22、23 のお知らせ(目安)です。
赤点滅した状態で「切」スイッチを押して本体の運転を止めると、音声ナビゲーションが次のことをお知らせします。※ ➔ P.10
「吸込力が弱くなりました。ごみを捨て、ダストフィルターをお手入れするか、吸込口などの詰まりを確認してください。」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">青</td><td>点灯</td><td>本体運転中のお知らせです。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>電動スパイラル除じん機構 ➔ P.11 作動中のお知らせです。</td></tr>
</table>

※「弱」運転状態のときは、本体のランプは赤点滅しません。また、音声ナビゲーションによるお知らせもありません。

こんなときは…

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき

少量のごみでも「本体のランプ」が赤点滅することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。➔ P.18、19、22、23

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、曲がるロング吸口などをご使用のとき

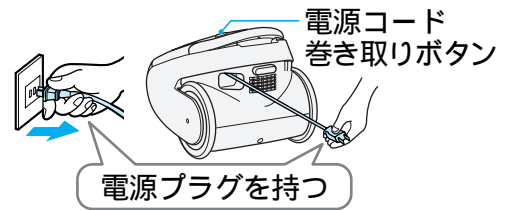
吸込風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が赤点滅することがありますが、そのままご使用いただけます。

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき

電源電圧の低下により、早期に「本体のランプ」が赤点滅することがあります。
定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。

あとかたづけ

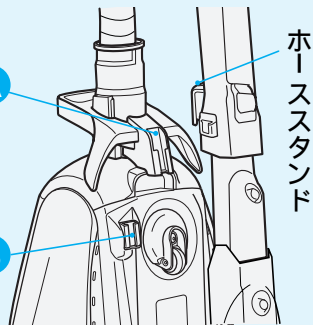
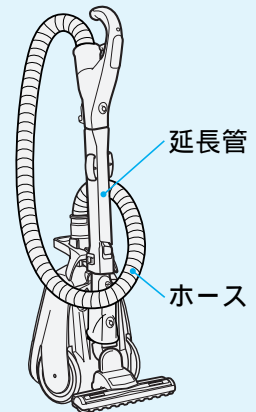
電源コードの巻き取りかた

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。

⚠注意
けがをする・家具に傷をつけるおそれあり
●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

収納のしかた

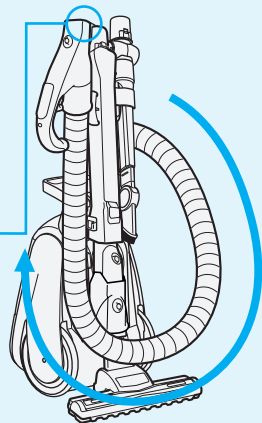
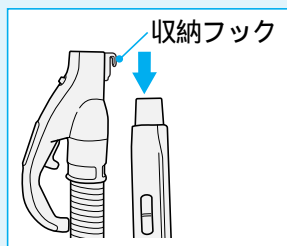
1 延長管を縮めて →P.8 **取り付け溝にホーススタンドを差し込む**

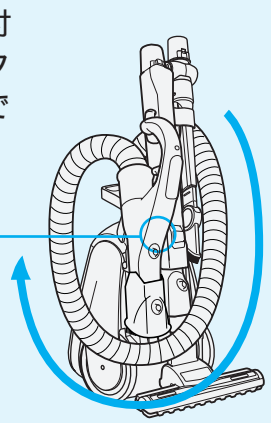
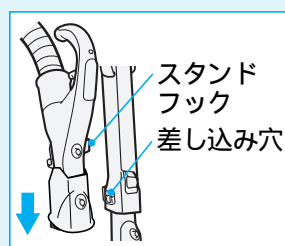
クルッとブラシをパワーヘッド側に取り付けているとき A →P.15
Aの取り付け溝に

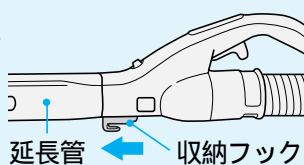
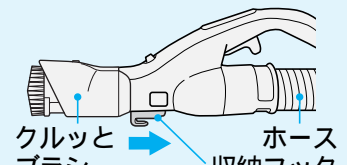
クルッとブラシを手もと操作部側に取り付けているとき B →P.15
Bの取り付け溝に

2 ホースを延長管に巻きつける

さらにコンパクトに収納したいとき

●手もと操作部を延長管から外してください。 →P.4、5

サッと収納

ホースを延長管に巻き付けて、延長管に収納フックを引っ掛けてください。

コンパクト収納

ホースを延長管に巻き付けて、差し込み穴にスタンドフックを差し込んでください。

収納フック

・サッと収納のときは、収納フックを延長管側にスライドすることができます。

・クルッとブラシを取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。

⚠注意
けがのおそれあり
●収納状態のままで持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。

お願い
●ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因となります。
●ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

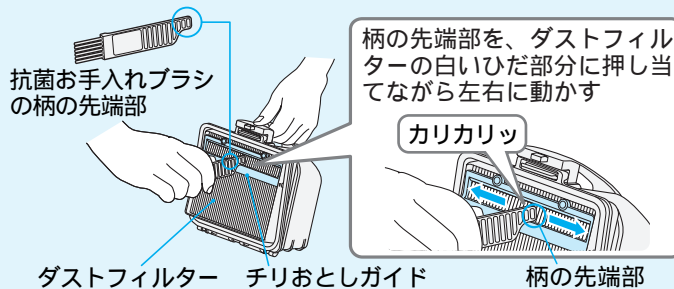
「本体のランプが赤点滅した」、「吸込力が弱くなった」とき

●ダストケースの各フィルターをお手入れしてください。
●強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

お願い ●お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

1 ダストフィルターのチリを落とす

抗菌お手入れブラシの柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

●これによりダストフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。

お願い ●柄の先端部を強く押し当てすぎるとダストフィルターが破れることがあります。
軽く押し当ててください。

2 ごみを捨て、メッシュフィルターに付着したごみを取り除く ➔ P.19

3 ダストフィルターに付着したごみを取り除く

ダストフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみを抗菌お手入れブラシで取り除く

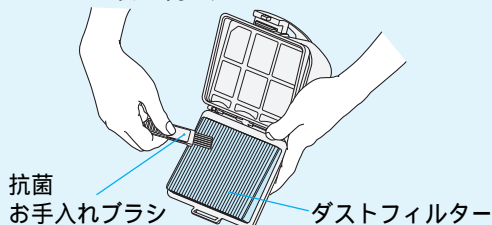
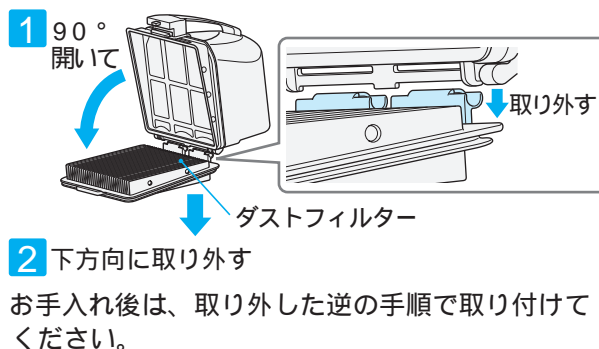
●取り外してお手入れすることもできます。

1 90°開いて

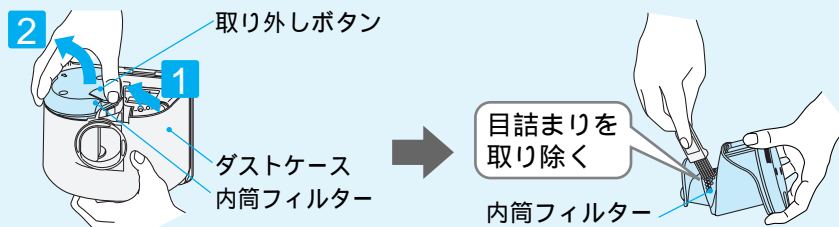
取り外す

ダストフィルター

2 下方向に取り外す

●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 内筒フィルターを取り外し、付着したごみを取り除く

1 取り外しボタンを押しながら

2 内筒フィルターを取り外す

5 内筒フィルターを元どおりダストケースに取り付ける

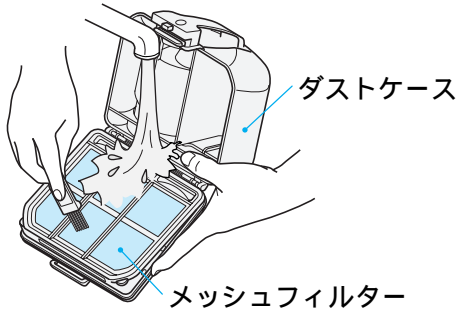
1 内筒フィルターの矢印とダストケースの矢印を合わせる

2 内筒フィルターをダストケースのガイドにそわせる

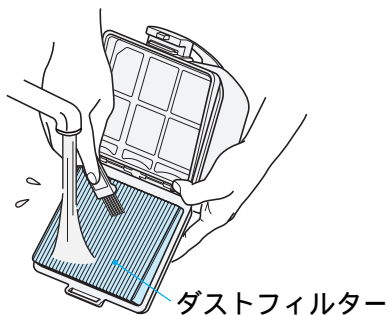
3 取り外しボタンが「カチッ」と音がするまで閉める

「お手入れしても吸込力が回復しない」、「汚れが気になる」とき

●各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。
乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

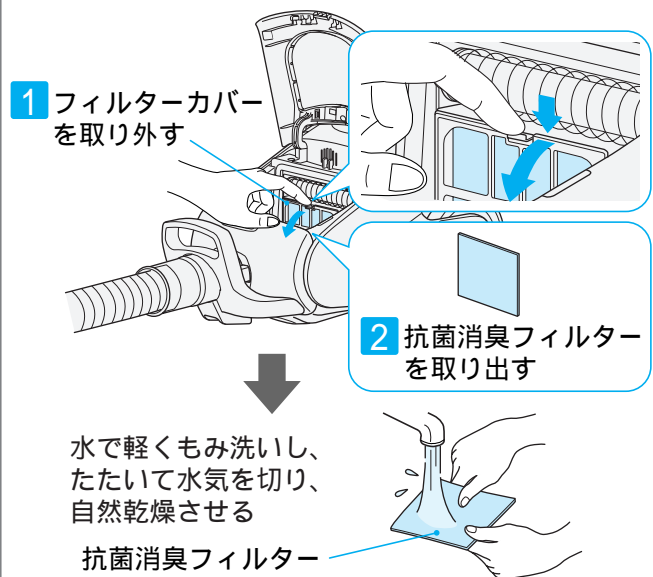
メッシュフィルター・ダストケース

お願い
●メッシュフィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。

ダストフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

●取り外してお手入れすることもできます。

→ P.22

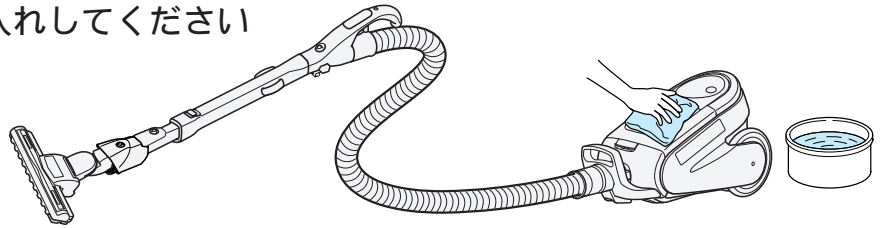
内筒フィルター

抗菌消臭フィルター
(ナノチタン・アレルオフ・ナノポーラスゼオライト抗菌消臭フィルター)

お願い
●洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。
また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
性能の低下や変形の原因となります。
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属の抗菌お手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。
破損の原因となります。
●水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
●ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーター部にごみが侵入すると、高精細ULPAフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 → P.2、30
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。
各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 → P.30、31

お手入れのしかた

本体・付属品

●汚れが気になるときはお手入れしてください

**水を含ませたやわらかい布を
よく絞ってからふく**

お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。

パワーヘッド

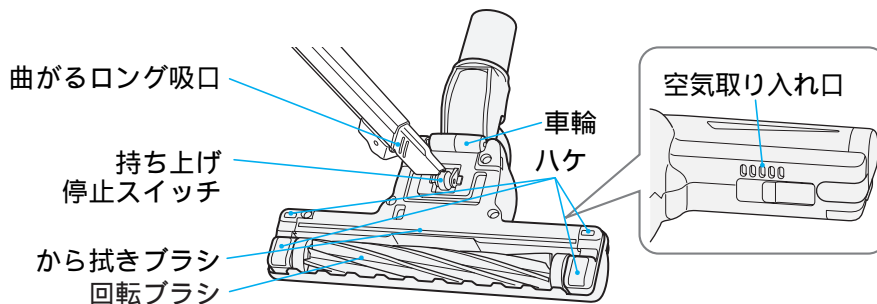
●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。

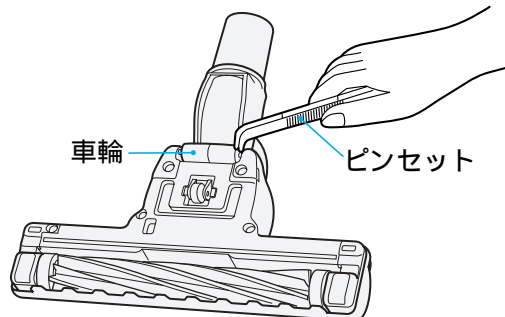
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●パワーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

付着したごみを取り除く

曲がるロング吸口を使ってごみを吸い取ってください。

車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。

⚠注意

ゆか面に傷をつけるおそれあり

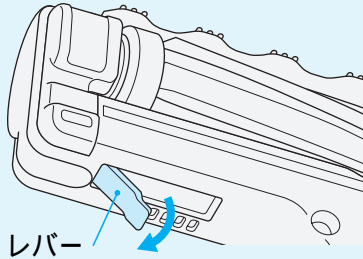
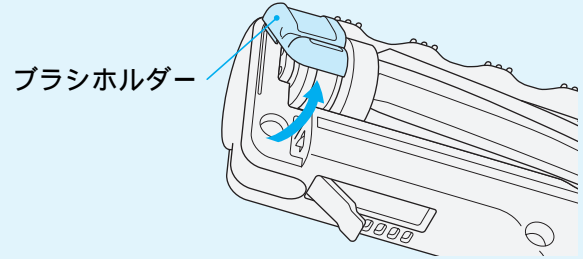
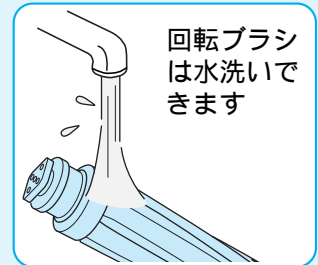
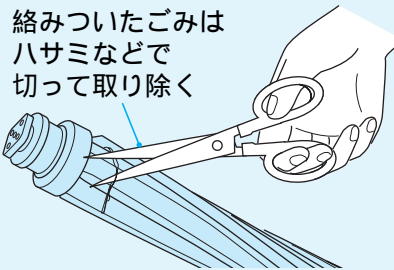
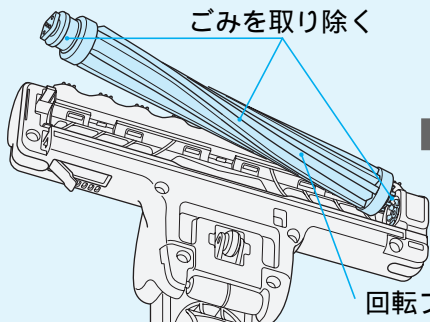
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。

●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。 ➔ P.30、31

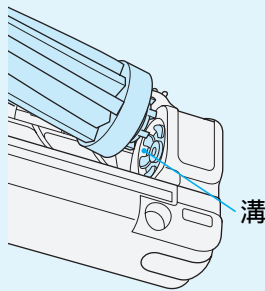
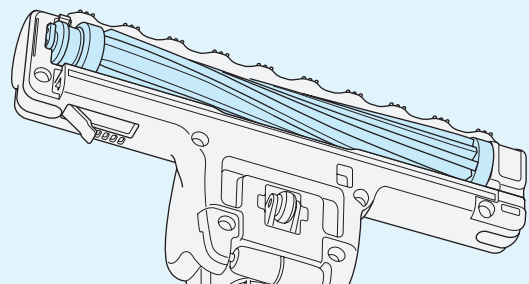
お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

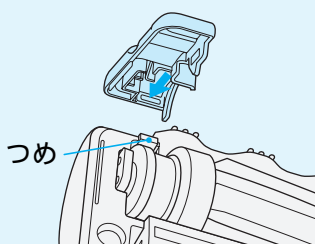
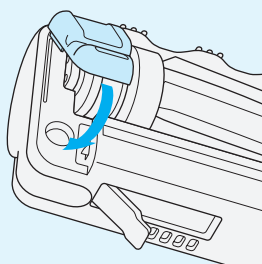
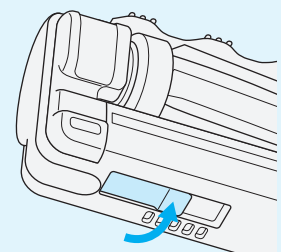
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

2 ブラシホルダーを取り外す

2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

お願い
●洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。
●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

2 元どおり取り付ける

4 ブラシホルダーを取り付ける

1 つめを引っ掛ける

2 ブラシホルダーを取り付ける

3 レバーを閉める

お手入れのしかた

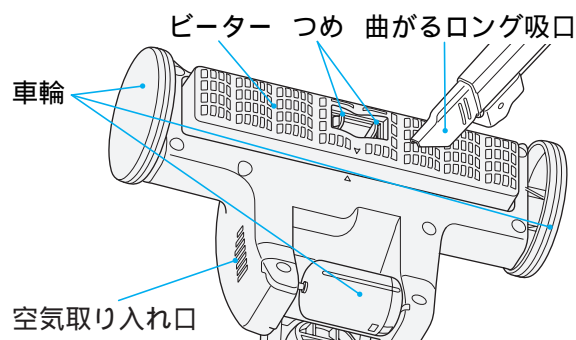
お手入れのしかた(続き)

電動ふとん吸口

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
ビーター、車輪、空気取り入れ口にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●電動ふとん吸口は、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

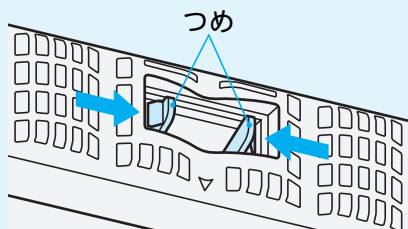
付着したごみを取り除く

●曲がるロング吸口を使ってごみを吸い取ることができます。
●ビーターの穴にごみが詰まったり、車輪にごみが絡みついたときは、ピンセットなどで取り除いてください。

お願い ●ビーターに無理な力を加えないでください。ビーターやつめが破損するおそれがあります。

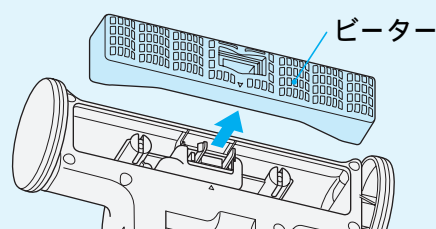
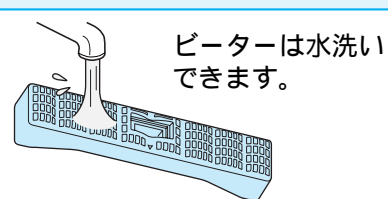
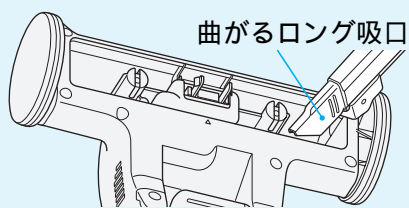
ビーターをお手入れする

●ビーターの取り付け、取り外しの際は、手などを挟まないようにご注意ください。

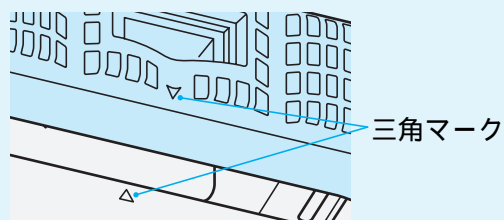
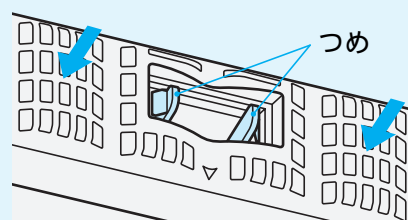
1 ビーターを取り外す

1 つめを内側に押す

2 ビーターを取り外す

2 中のごみを取り除く

●ビーターは水洗いできます。

お願い ●ビーターを水洗いするときは、洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。
●ビーターを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 ビーターを取り付ける

1 三角マークを合わせる

2 つめがはまるまでビーターを押し込む

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

	本体が運転できない	パワーヘッドの回転ブラシが回転しない
	本体のランプ	
保護装置と原因	本体のランプが赤点滅したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に「弱」運転になります。 さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。	回転ブラシに異物を挟み込むなどした状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。
	フィルターのごみ詰まり / 吸込口をふさいだままの運転 / ホース・延長管のごみ詰まり	異物の挟み込み / ゆかやじゅうたんなどへの押し付け

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

本体が運転できない			パワーヘッドの回転ブラシが回転しない
ごみ捨て/フィルターのお手入れをする → P.18、19、22、23	吸込口をふさいでいるものを取り除く	ホース・延長管に詰まったごみを取り除く	回転ブラシに挟み込んだ異物を取り除く → P.24、25

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	(1)ごみを捨ててください。	P.18 P.19
	(2)フィルターにごみが付着していませんか。	(2)各フィルターのお手入れをしてください。	P.22 P.23
	(3)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。	(3)ごみを取り除いてください。	−
	(4)パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(4)ごみを取り除いてください。	P.24 P.25
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが赤点滅する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。		−
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●曲がるロング吸口、クルッとブラシをカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後は、パワーヘッドに力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	−
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.8
	(2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.4 P.5
	(3)上ふたが開いていませんか。	(3)上ふたを閉めてください。	−
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	(1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9
	(2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドなどがしっかり接続されていますか。	(2)しっかりと接続してください。	P.4 P.5
	(3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。	(3)ゆか面から浮かせると止まる構造になっています。	P.13
	(4)回転ブラシ、空気取り入れ口、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。	(4)ごみを取り除いてください。	P.24 P.25
	(5)延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントを使用していませんか。	(5)定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。	−
パワーモニターが点灯しない	パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
ごみがいっぱいになっていないのに、自動でリフトアップする	ダストケースや内筒フィルターが汚れていませんか。	ダストケースや内筒フィルターを水洗いするなどして、汚れを落としてください。	P.3 P.23
ダストケース付近から「ピー」という異音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	P.19
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。		–
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		–
排気から異臭が出る	(1)フィルターにごみが付着していませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.22 P.23
	(2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.23
クルッとブラシのブラシが出ない	内部にごみが詰まっていませんか。	ごみを取り除いてください。 ブラシに付着したごみは「曲がるロング吸口」で吸い取ってください。	–
音声ナビゲーションが作動しない	音声ナビゲーション「切」に設定していませんか。	「パワーブラシ切/入」スイッチを長押し(5秒以上)して、音声ナビゲーション「入」の設定に切り替えてください。	P.10
電動スパイラル除じん機構が作動しない	(1)本体に本体つぎてが確実に差し込まれていますか。	(1)「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。	P.4 P.5
	(2)上ふたが開いていませんか。	(2)上ふたを閉めてください。	–
電動スパイラル除じん機構の作動時間が短い	ダストフィルターにごみが付着していませんか。	ダストフィルターのお手入れをしてください。	P.22 P.23
電動ふとん吸口のビーターが動かないまたは動きにくい	(1)パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	(1)もう一度「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9
	(2)本体、ホース、延長管、電動ふとん吸口がしっかり接続されていますか。	(2)しっかりと接続してください。	–
	(3)ビーター周辺に異物が挟まっていませんか。	(3)異物を取り除いてください。	P.26
上ふたが閉まらない	ダストケースが取り付けられていますか。	ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより上ふたが閉まりません。	P.19
本体から異音がする	高精細ULPAフィルターが目詰まりした場合、本体から異音が発生することがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。		P.2 P.30
確認してもまだ異常がある場合		**ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。**	**P.30**

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」**➔ P.27〜29****をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容
1 型式－**CV-RS3000**
2 症状－**できるだけ詳しく**

保証について

この商品は保証書付きです。

●保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
●保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭用以外でご使用になるとき

●共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（パワーヘッドなど）が必要になることがあります。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってお使いになることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを押しても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●ホースが破れている ●こげくさい“におい”がする ●その他の異常がある

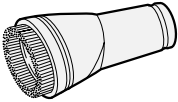
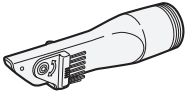
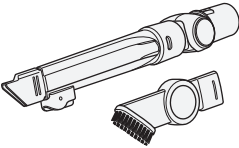
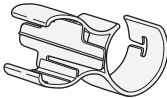
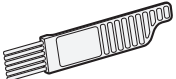
ご使用中止	事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

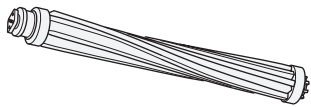
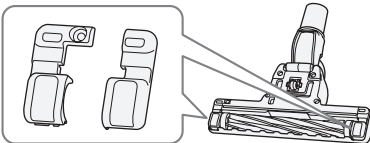
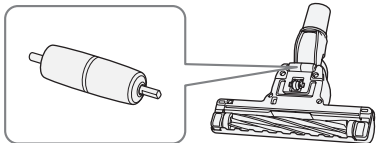
日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
(受付時間) 9:00〜19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2009年3月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口をご使用になる場合は、付属の別売り部品接続用アタッチメントをご使用ください。 ➔ P.17

●はたき吸口(D-H3)

希望小売価格
3,990円(税抜 3,800円)

●棚用自在吸口(D-TJ2)

希望小売価格
1,260円(税抜 1,200円)

●丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

希望小売価格
5,250円(税抜 5,000円)

●クルッと切替えブラシ吸口

※別売り部品接続用アタッチメントを使用する必要はありません。

サービスパーツ
CV-PL8-009
クルッと切替えブラシ吸口
とご指定ください

希望小売価格
1,050円(税抜 1,000円)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

●曲がるロング吸口(D-SH4)

サービスパーツ CV-SM10-029
曲がるロング吸口(D-SH4)
とご指定ください
希望小売価格
5,250円(税抜 5,000円)

●ブラシ(SH4)

サービスパーツ CV-SM10-030
ブラシ(SH4)
とご指定ください
希望小売価格
525円(税抜 500円)

●吸口ホルダー(SH4)

サービスパーツ CV-SM10-031
スイクチホルダー(SH4)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●抗菌お手入れブラシ

サービスパーツ CV-SK20-001
抗菌お手入れブラシSK
とご指定ください
希望小売価格
420円(税抜 400円)

●サッとハンドル

サービスパーツ CV-RS1-065
サッとハンドル
とご指定ください
希望小売価格
1,260円(税抜 1,200円)

●電動ふとん吸口

サービスパーツ CV-PL800-018
電動ふとん吸口
とご指定ください
希望小売価格
15,750円(税抜 15,000円)

●クルッとブラシ

サービスパーツ
CV-SJ10-033(シャンパン)
CV-P50J-043(レッド)
クルッとブラシ とご指定ください
希望小売価格
2,100円(税抜 2,000円)

●別売り部品接続用アタッチメント

サービスパーツ CV-SM10-033
アタッチメント(SM)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●メッシュフィルター

サービスパーツ CV-RS1-070
メッシュフィルターRS1
とご指定ください
希望小売価格
420円(税抜 400円)

●ダストフィルター

サービスパーツ CV-RS1-069
ダストフィルターRS1
とご指定ください
希望小売価格
1,050円(税抜 1,000円)

●回転ブラシ

サービスパーツ CV-RS3000-023
ロータリブラシクミ(AP23)
とご指定ください
希望小売価格
2,520円(税抜 2,400円)

●ブラシホルダー(ハケ)

サービスパーツ CV-SL10-031
ジクウケカバーL,Rセット(AP19)
とご指定ください
希望小売価格
315円(税抜 300円)

●車輪

サービスパーツ CV-SK20-022
ローラLセット
とご指定ください
希望小売価格
840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電源	100V 50-60Hz共用	本体寸法	長さ375mm×幅276mm×高さ268mm
消費電力	1000W～約200W	標準付属品	ホース……1本 パワーヘッド……1個 延長管……1本
吸込仕事率	510W～約80W		
運転音	49dB～約45dB	付属応用部品	サッとハンドル……1個 抗菌お手入れブラシ……1個 クルッとブラシ……1個 電動ふとん吸口……1個 曲がるロング吸口(D-SH4)……1個 ブラシ(SH4)……1個 吸口ホルダー(SH4)……1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個
集じん容積	0.5L(ごみすてラインまで)		
コードの長さ	5m		
質量	6.9kg(標準付属品を含む)		

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称	試験結果
抗菌効果	パワーヘッド	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック	99%以上
	回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902に準ずる*	繊維に付着	刷毛	99%以上
	ダストフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	ひだ折り不織布	99%以上
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック	99%以上
	抗菌消臭フィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布	99%以上
	高精細ULPAフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	ひだ折り不織布	99%以上

＊蛍光灯照射時(1,000lx)

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名 **電話**

ご購入年月日 **平成　年　月　日**

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

3-M1204-3A　C9(H)